

「BCP体験型机上演習(TTX) 講座のご紹介」 ～サイバーセキュリティ対策医療編～

令和4年9月19日(月)
10:00～16:00

主催：九州大学サイバーセキュリティセンター、経済産業省九州経済産業局

- 参加プレイヤーは、医師、看護師等になりきり、演習をロールプレイ
- ディスカッションタイムを設け、考え方と気づきを学ぶ

＜演習ロールプレイ詳細＞

- 1 初動段階及び判断対応段階（エスカレーション）
- 2 被害拡大段階（高度医療機器被害の判明）
- 3 応急復旧段階（機器交換、電カルデータ復旧）
- 4 参加者から感想と気づき事項を発表

昨年同プログラムに参加頂いた病院様の学びや気づき

非常時のことを想定し、動き方、考え方、状況対応力をつけていくことが大事と思いました。

当院の医療安全管理マニュアルで、BCP対応（迅速な対応）ができるかどうか？

委員会でも回覧等を行い今回の演習を糧としたい。

有事の際に対応できるようにするには、体制・役割の整備および定期的な訓練が必要

今回の事象は、電カルシステム等の機能停止であったが、事業継続が最重要課題であり、普段からの各部署とのかかわり（連携）、各責任者との関係性（信頼関係等）が重要であることを再認識できた。

医療において、有事の際のBCPを構築する際には、各専門分野でのBCPの意味合いを理解し合うということが重要であると教えて頂いた

＜ご案内＞

本演習講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院関係者限定の参加とし、少人数での開催としております関係上、飛び込み参加等のご遠慮いただいております。

演習内容や結果の報告については、多数の方に知っていただけるよう11/30にセミナーを開催予定としております。

詳細は九州経済産業局HPでもご案内しますのでぜひご参加ください。